

* 難病診療連携コーディネーターからの報告

1) 令和5年4月からの取り組み

- ・相談窓口への相談内容に対する対応
- ・協力病院と5施設とのネットワーク構築に向けた話し合いの実施
- ・難病相談・支援センターとのネットワーク構築に向けた話し合いの実施

2) 実際の相談内容とその対応

- ・他県医療機関より、転居に伴い今後のフォロー先の医療機関についての相談
→県内の複数の医療機関に確認し、相談元への情報提供の実施
- ・他院医師より診断に難渋している患者についての相談
→当院神経難病外来へ予約とした
- ・患者本人より医療費についての相談
→相談員が対応、説明にて納得いただいた
- ・患者本人より。他医療機関に通院中、確定診断が見つからないことで相談
→当院神経難病外来について案内、受診を希望時の流れについて説明
- ・患者本人より、自宅での生活が大変、入院をさせてほしいとの相談
→診療科と相談の上、県内の他の医療機関に入院調整を行った
- ・先進医療が受けられる病院についての相談
- ・地域のクリニックより、他県への患者の紹介方法についての相談 等

3) 今後の課題

- ・多岐にわたる相談内容に対応できるよう難病に関する知識の向上
- ・県内の難病医療提供体制に関する情報収集
- ・県内の協力病院とのネットワーク構築の推進